

高度救助隊の発隊

日立市消防本部

日立市消防本部は、平成24年4月1日、東日本大震災を教訓に消防体制の見直しを図り、大規模災害や特殊災害に迅速かつ効果的に対応するため、特別救助隊員から16名を選抜し「高度救助隊」を発隊しました。

4月17日の発隊式には、市長ら来賓を迎え、救助訓練の公開と3月に更新された救助工作車及び救助資機材を展示しました。高度救助隊は「市民の安全を確保し、市民の期待に応えるため、職務に邁進する。」との決意のもと、従来の救助隊とあわせて救助体制の充実強化を図っていきます。



発隊した高度救助隊

救命索発射銃取扱訓練を実施

逗子市消防本部

逗子市消防本部は、平成24年3月12～13日、逗子市内で救命索発射銃の全般的な取扱訓練を実施しました。付近住民に対する事前通知のうえ、訓練指揮者の指示のもと、安全管理員を配置し、事故防止に努めながら実施しました。

訓練では、災害で川の中州やビルの屋上に取り残された人の救出に使用するM-3型及びM-63型の救命索発射銃を使用、試行錯誤を繰り返し「考える」訓練に努めました。いつ発生するかわからない自然災害やビル火災に備え、安全確実に発射できるよう技術の向上を図りました。



救命索発射銃取扱訓練実施状況

消防通信 望楼 ぼうろう

CSRM効果確認公開訓練を実施

五泉市消防本部

五泉市消防本部は、平成24年4月26日、県内（15本部）から150名以上の消防職員の見学を迎え、知識技術の共有、情報交換、顔の見える関係づくりを目的として、狭隘空間救急救助（CSRM=Confined Space Rescue/Medicine）効果確認公開訓練を実施しました。

訓練では、CSRMの技術展示説明のほか、90分間の実践的な想定訓練を2小隊に分かれて実施、訓練後は見学者を交えた有意義な意見交換を行いました。消防職員「備える」に対する意識向上が図られ、県内消防の繋がり、大規模災害における消防組織の強化が図られました。



訓練実施状況

ホテル緊急査察を実施

泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部は、平成24年5月13日発生した広島県福山市のホテル火災を受け、管内全域28施設の緊急査察を行いました。

管内には、関西国際空港付近のホテルや市街部の風俗営業関係施設、また山間部には温泉旅館などがあり、万一の火災を想定し、①防火管理体制の状況、②消防用設備等の維持管理状況、③防火戸及び避難口並びに避難階段の維持管理状況に主眼を置いて査察を実施しました。ホテル等関係者からは今回の火災は他人事ではないという言葉が聞かれるなど、重要な査察となりました。



査察状況

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】